



## 圃場に水が溜まりっぱなしになっていませんか？ 間断かん水で根の活力を維持しましょう！ 斑点米カメムシ類・いもち病の発生多い！防除を徹底！

### ◎ 生育概況と技術対策

「雪若丸」の7月20日現在の生育は、平年値と比べ、草丈はやや長く、茎数、葉数は平年並み、葉色はやや濃くなっています。

出穂期は平年並み～やや早いと予想されます。

平坦部「雪若丸」の生育（7月20日）

| 項目        | 調査値                  | 平年値                  | 平年比・差    |
|-----------|----------------------|----------------------|----------|
| 草丈        | 66.7 cm              | 63.9 cm              | 104 やや長い |
| 茎数        | 636 本/m <sup>2</sup> | 645 本/m <sup>2</sup> | 99 平年並み  |
| 葉数        | 12.0 枚               | 11.8 枚               | 0.2 平年並み |
| 葉色 (SPAD) | 42.0                 | 40.9                 | 1.1 やや濃い |

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

「雪若丸」予想出穂期（7月20日現在、農業総合研究センター調べ）

| 場所       | 予想出穂期 | 平年出穂期 | 平年差 |
|----------|-------|-------|-----|
| 山形市みのりが丘 | 8月3日  | 8月3日  | 0日  |
| 鶴岡市藤島    | 7月30日 | 8月2日  | -3日 |

※過去7か年（H28～R4）の平均値

### （1）間断かん水で根の活力維持！出穂直前から穂揃期までは湛水管理！

出穂までの水管理は間断かん水を基本とします。土壌を酸化的に保ち、根に水分と酸素を供給しながら、根の活力維持に努めましょう。

出穂・開花期は、水を最も必要とする「花水」の時期です。出穂直前から穂揃期までは2～5 cmの水深を保つように管理します。

### （2）斑点米カメムシ類及びいもち病発生多い！対策を万全に！

斑点米カメムシ類の発生が多くなっています。穂揃期とその7～10日後の2回防除を基本とし、地域で一斉に防除すると効果的です。

7月以降、いもち病感染好適日が多く、注意報第1号が7月20日に県病虫害防除所から発表されました。穂孕後期と穂揃期の2回防除を基本に、防除対策をしっかりと行いましょう。

**農作業事故と熱中症に十分注意してください！**

**休憩をこまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！**